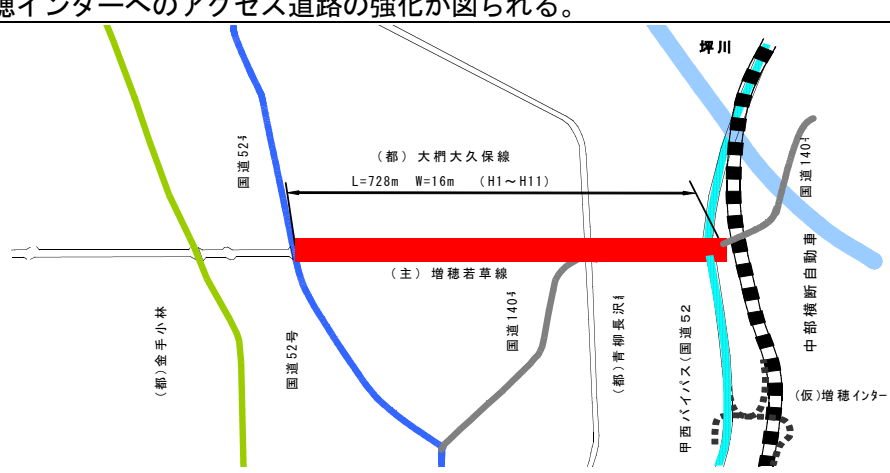


事後評価結果（平成16年度）

担当課： 関東地方整備局都市整備課

担当課長名： 東 智徳

事業名	通常費、臨時交付金 都市計画道路 大柵大久保線	事業区分	街路事業	事業主体	山梨県					
起終点	自：西八代郡増穂町大字長沢字若宮地1006-1番地 至：西八代郡増穂町大字大柵字北916番地			延長	0.7km					
事業概要	全体延長：L=728m、W=16m、2車線、(バイパス部L=500m、現道拡幅部L=228m) 電線類地中化									
事業の目的・必要性	国道52号とバイパスとを連絡する既存道路が狭隘であることから、新たな連絡道路の整備及び中部横断自動車道の(仮)増穂インターへのアクセス道路の強化が図られる。									
事業概要図										
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	H1年度	用地着手	H2年度	供用年	(当初) / H11	変動	倍	
		都市計画決定	H1年度	工事着手	H6年度	(暫定/完成)	(実績) / H11			
	事業費	計画時	(名目値) / 22億円	実績	(名目値) / 22億円			変動		1.1倍
		(暫定/完成)	(実質値) / 億円	(暫定/完成)	(実質値) / 25億円					
交通量 (当該路線)	計画時	/ 5,500 台/日		実績	/ 4,150 台/日		変動	75%		
旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	31.5	→	35.0	km/h	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	225	→	175	件/億台キロ	
	(供用直前年次)	9年度	(供用後年次)	11年度		(供用直前年次)	9年度	(供用後年次)	11年度	
費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	設定なし	総費用	億円	総便益	億円	基準年	年		
			事業費:	億円	走行時間短縮便益:	億円				
			維持管理費:	億円	走行経費減少便益:	億円				
					交通事故減少便益:	億円				
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	1.3	総費用	38 億円	総便益	51 億円	基準年	16 年		
			事業費:	37 億円	走行時間短縮便益:	43 億円				
			維持管理費:	1 億円	走行経費減少便益:	6 億円				
					交通事故減少便益:	2 億円				
事業遅延によるコスト増	費用増加額		億円		便益減少額		億円			
事業遅延の理由	無し									
客観的評価指標に対応する事後評価項目										
その他評価すべきと判断した項目										

事業による環境変化	<u>環境影響評価に対応する項目</u> 沿道住民のまちづくりに対する意識の向上により、「大櫛地区生け垣協定」が締結され、沿道周辺の緑化の推進により良好な景観が形成された。
	<u>その他評価すべきと判断した項目</u> 街路整備により、商業業務地としての利便性が向上し、各種店舗が出店し、地域の活性化に寄与した。
<u>事業を巡る社会経済情勢等の変化</u> 国道52号甲西バイパスの供用が、順次延伸されており、平成18年度全線供用される予定。	
<u>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</u> 現時点で混雑時旅行速度、平均交通量に関して改善が確認されており、副次効果等も確認されているため、今後の事後評価は不要である。	
<u>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</u> 	
<u>特記事項</u> 	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。